

神話スライドset シリーズ

月下老人

スライド枚数	: 13枚
時間	: 4分56秒
イラスト	: 高部 哲也
ナレーション	: 寺瀬 今日子

LIBRA CORPORATION



8

0. 「月下老人」という言葉を知っていますか？

今風に言えば、仲人、まだ結婚の決まっていない男女の仲を取り持つ人のことを言うんだそうです。

でも、どうして月の下の老人が仲人さんってことになったんだと思います？

それは昔、中国が「唐」と呼ばれていた時代のこと。



1. イゴという若者がある街を通りかかったとき、
なにも書かれていない分厚い本を開いている老人に
出会ったそうです。

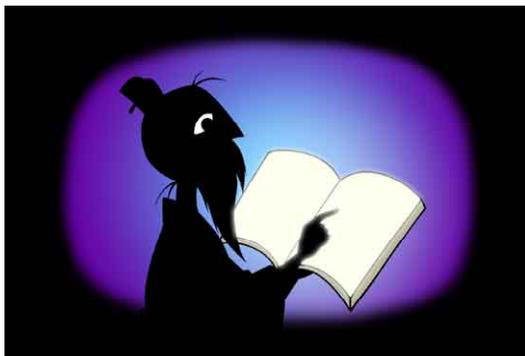
「いったい何の本なんですか？」

好奇心に駆られてイゴがそう話しかけると、

2. 「これはな、月夜の晩にしか読めぬ秘密の本
でな・・・」

老人は、そう答えながら、月の光に本をさらしました。

3



3. すると、何とも不思議なことに、見る間に文字が
浮き出てきたのです。

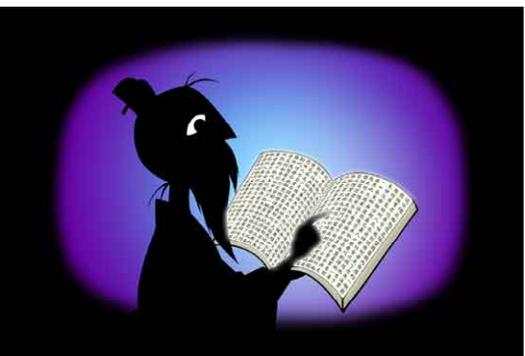
目を見張るイゴに、老人は、

「月の光には、時を操る力があるのじゃ。

わしは、その力を借りて、この本に書いてある、この世のありとあらゆる結婚についてしることができ
る。

だから、わしは、今夜のような月夜の晩に、この本
を読んでは、赤い糸を、男女それぞれの足に結んで
いく。

その赤い糸がいずれ二人を導いて、めでたく結婚と
いうわけじゃ。」



と答えます。



4. 「そんなばかな」と思ったイゴでしたが、もののためしと、しばらく老人と一緒に歩いていくことにしました。

ふたりが市場のそばまで来たとき、老人が突然、

「ほら、あれが、おまえが将来結婚することになる娘じゃ」

と、盲目の女の人を指差しました。



5. 「そんな。あの人は僕よりずっと年上のおばあさんじゃないですか。」

すると



6. 「早合点するでない。

あの女が抱えている子供のほうじゃ」

「だって、あの子はまだ3歳くらいの赤ん坊ですよ」



7. 半信半疑ながらも子供の顔を覗き込んだイゴ。

かわいらしい寝顔に思わず、

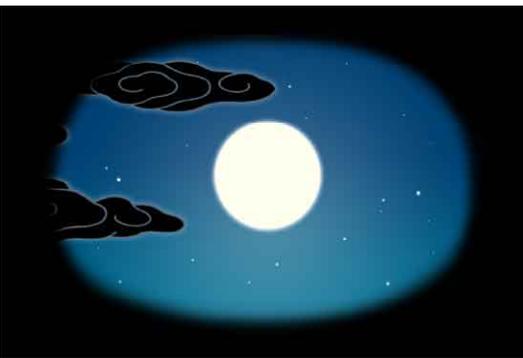
「これは、とてもよくきくお守りです。
この子が幸せになりますように」

と、自分の名を刻んだ玉を渡しました。

8. ちょうどそのとき、月に雲が懸かり、あたりは闇に包まれました。



9. そして、再びあたりが月の光に照らされたときあの老人の姿はどこにもありませんでした。



+音変わり

10. それから14年後、イゴはとても出世して、大臣の娘と結婚することになりました。
ところが、花嫁の首に掛かっているのは、紛れもなくあのお守りの玉。



11. 由来を聞くと、ずっとむかし、見知らぬ男にもらったといいます。

イゴは、将来の妻をびたりと当てた老人にもう一度会いたいと思い、八方手を尽くしましたが、もう二度とあうことはできなかったそうです。





12. 月夜の晩、月の光で本を読む老人にであったら、
ご用心。

きっと、だれかにつながる赤い糸をあなたの足に結
ぼうとして待ち構えているにちがいません。

+音終わり